

レジメン名称	1コース	催吐性リスク
CET+CPT-11	49日間	中等度催吐性(アプレピタント併用 day1,15,29) 最小度催吐性(day8,22,36,43)

薬剤		用量	用法		1	2	3	~	8	~	15	16	17	~	22	~	29	30	31	~	36	~	43	~	49
アプレピタント125mg		1カプセル	1×抗がん剤開始60分前		●			~		~	●			~		~	●			~		~			
アプレピタント80mg		1カプセル	1×朝			●	●	~		~		●	●	~		~		●	●	~		~			
滴下順	薬剤	用量	ルート	投与時間	1	2	3	~	8	~	15	16	17	~	22	~	29	30	31	~	36	~	43	~	49
1	生理食塩液	250mL	メイン	ルートキープ	●				●		●				●		●				●		●		
2 (day1,15,29)	グラニセトロン	3mg/100mL	側管	30分																					
	デキサメタゾン	3.3mg				●						●							●						
2 (day8,22,36,43)	d-クロルフェニラミン	5mg	側管	30分																					
	デキサメタゾン	6.6mg								●							●							●	
3	d-クロルフェニラミン	5mg	側管	30分																					
	生理食塩液	100mL																							
3	セツキシマブ	初回400mg/m ² 維持250mg/m ²	側管	初回 2時間																					
	生理食塩液	初回400mL 維持200mL		2回目以降 1時間	●					●		●				●		●				●		●	
4	生理食塩液	100mL	側管	1時間	●				●		●				●		●				●		●		
5	イリノテカン	150mg/m ²	側管	1時間30分																					
	5%ブドウ糖液	250mL				●						●							●						
6	生理食塩液	50mL	側管	15分	●						●						●								

*生理食塩液250mLはインフュージョンリアクション対応のためのルートキープ。投与が終わるまでゆっくり滴下

**軽度～中等度(Grade1-2)のインフュージョンリアクションが発現し投与速度を減速した場合、その後の投与においても減速した速度で投与